

愛犬の健康管理チェックポイント

愛犬の健康を守るには、体の状態、行動、しぐさ、今日の元気など、見た目や動きにいつもと違ったところがないかどうかを、毎日よく観察することが大切です。ブラッシングなどのケアをすることで、愛犬に触れながらチェック☑しましょう。

☑ 健康管理チェックポイント

Team HOPE「ウェルネスチェック」*より

生活全般

- 元気がない
- 息切れがあるなど、疲れやすい
- 歩き方や行動に変化がある
- 睡眠に変化がある
- 体重に変化がある



食事

- 食量や飲水量に変化がある

排泄

- 排泄物の色、臭い、量、固さや排泄の回数などに変化がある

体や部位の症状

- 毛づやに変化や脱毛がある
- 体をかゆがったり、皮膚に異常がある
- くしゃみや咳、鼻水や鼻血が出る
- 目に濁りや充血などの異常がある
- 口臭がある、よだれが出る
- 歯が汚れている、歯石がある
- 耳の中が汚れている

* Team HOPE (チーム・ホープ)の「ウェルネスチェック」は、ペットの健康を保証したり、病気を確定するものではありません。ペットの健康状態は個体によりそれぞれ違いますので、チェック項目の質問以外に少しでも不安を感じたり、いつもと違う気になる変化がありましたら、必ず動物病院で獣医師の診察を受けてください。

異常があれば、早めに病院へ

健康管理チェックポイントの結果、チェックした項目がありましたら、早めにかかりつけの動物病院を受診しましょう。

定期的なブラッシング・シャンプー・トリミング

見た目の問題だけでなく、清潔に保つことで皮膚病や寄生虫などによる病気を予防できます。トリミングが必要不可欠な犬種もいるので、適切に行いましょう。

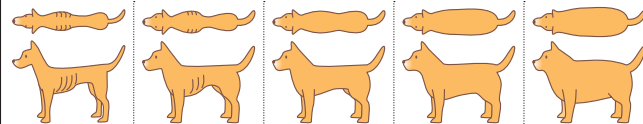
ボディコンディションスコアで体型をチェック

愛犬の体型を知る目安として、ボディコンディションスコア (BCS) という評価方法があります。愛犬の肋骨と腰をポイントとして、見たり触ったりして5段階で評価します。

- 1 横から見て、ウエスト部のくびれ具合をチェック。
- 2 真上から見て、腰のくびれ具合をチェック。
- 3 肋骨部をなでて、骨の突起を両手で感じながらチェック。
- 4 ウエスト部分を両手で触って、くびれ具合をチェック。
- 5 両手を腰の上部にあてて腰骨の浮き出し具合をチェック。

①～⑤をチェックした結果、下の5段階のどこに当てはまるかを確認して、愛犬がスコア3の理想的な体型を維持できるように管理しましょう。

犬のボディコンディションスコア(BCS)と体型



BCS 1
痩せ

肋骨、腰椎、骨盤が外から容易に見える。触っても脂肪が分からない。腰のくびれと腹部の吊り上がりが顕著。

BCS 2
やや痩せ

肋骨が容易に触れる。上から見て腰のくびれは顕著で、腹部の吊り上がりも明瞭。

BCS 3
理想的

過剰な脂肪の沈着なしに、肋骨が触れる。上から見て肋骨の後ろに腰のくびれが見られる。横から見て腹部の吊り上がりが見られる。

BCS 4
やや肥満

脂肪の沈着はやや多いが、肋骨は触れる。上から見て腰のくびれは見られるが、顕著ではない。腹部の吊り上がりはやや見られる。

BCS 5
肥満

厚い脂肪におおわれて肋骨が容易に触れない。腰椎や尾根部にも脂肪が沈着。腰のくびれはないか、ほとんど見られない。腹部の吊り上がりは見られないか、むしろ垂れ下がっている。

環境省「飼い主のためのペットフード・ガイドライン」より